

令和8年度 施政方針

私の町政に対する所信の一端を申し述べ、議員各位をはじめ町民の皆様の御理解と御協力を賜りたいと存じます。

さて、去年は城里町が20周年を迎え、記念式典や記念コンサートなどが盛大に開催され、町民の皆様とお祝いをすることができました。そして、11月末には水戸ホーリーホックがJ2優勝とJ1昇格という形で、城里町20周年のお祝いとアツマーレ建設の恩返しをして頂きました。

これまで、J1へと昇格をしてきた多くのチームが、豊富な資金力で即戦力の外国人や元日本代表の有名選手を揃えるという戦略であったのに対して、水戸ホーリーホックは、高卒・大卒で採用した若い日本人選手を一流に育てあげることによって優勝を勝ち取りました。これは、「若者に優れた練習・教育環境を提供し、チャンスを与えて育成し、優れた指導者の下で一致結束すれば、偉業を達成することができる」ということを世に示しました。このような意味で、今回の水戸ホーリーホックの優勝はサッカー界にとどまらない特別な意義を持ち、広く茨城県民に勇気と希望を与えました。水戸ホーリーホックの優勝に啓発され、若者を教育しチャンスを与えようとする企業などが増えたとしたら、こんな嬉しいことはありません。そして、このような偉業の達成に、城里町として深く関わることができたのは誇らしく、アツマーレの建設から維持管理に至るまで、ご理解・ご協力を頂いた城里町民の皆様、議会議員の皆様に深く感謝を申し上げます。

本年度は、いよいよ「道の駅かつら」が8月末までに竣工し、9月中旬のリニューアルオープンを予定しています。建物規模が倍以上になることから、売上げも倍増以上を目指しており、積極的に従業員の採用を行っています。ぜひ「道の駅かつら」にお蕎麦を食べに行ってください。既に若い従業員が増えていることに気づくはずですが、城里町で生まれ育った若者が、道の駅かつらで元気よく働いている姿に勇気づけられます。現代的にお洒落に生まれ変わろうとしているからこそ、道の駅かつらが職場として若者を惹きつけているのです。9月の開業に向けて、まだまだ人手が不足しています。道の駅かつらは、積極的に人材を採用して「働く場所」を町民に提供するとともに、農業の振興及び観光の拠点となることを目指します。

さて、令和8年度予算は、一般会計が111億1千9百万円となり、前年比21億6千百万円の大幅な減少となりました。「道の駅かつら建築工事」に関係する費用が今年には予算に含まれておらず、また今夏の町長選挙を控えて

新規事業を抑制したことから、昨年に比べて緊縮的な予算となっています。

次に特別会計についてであります。最初に国民健康保険特別会計（事業勘定）について申し上げます。

国民健康保険は、国民皆保険制度を支える中核的な役割を担っておりますが、医療保険制度を取り巻く情勢は、急速な高齢化や疾病の多様化、医療の高度化等に伴い、医療費の増嵩^{ぞうすう}、加えて高齢者や低所得者の加入割合が高いという構造的な要因があるものの、健全な運営を続けております。引き続き医療費の適正化や国保税の収納率の向上を図り、国民健康保険の安定的運営の確保と保険財政の健全化に努めて参ります。

国民健康保険特別会計（施設勘定）について申し上げます。

施設勘定につきましては、七会診療所で医科・歯科を、沢山診療所で歯科を運営し、へき地及び医療が不足している地域の医療機関として保健医療を担っております。福祉機関と緊密な協力・調整を行い、医療・保険・介護予防等地域医療との連携を推進し、経営の健全化を図りながら、地域に密着した医療機関として町民に信頼される診療所を目指して参ります。

後期高齢者医療特別会計について申し上げます。

後期高齢者医療制度につきましては、年々医療費の増嵩^{ぞうすう}が見込まれ厳しい財政状況ではありますが、安定した事業運営を行っております。

今後も、現制度の中で医療給付費の適正化を図り、財政健全化に努めて参ります。

特別会計の内容としましては、医療給付費の支払及び保険料の賦課は茨城県後期高齢者医療広域連合が行い、町は徴収事務と町民に対する窓口業務を行っております。

介護保険特別会計（保険事業勘定）について申し上げます。

高齢化の進行に伴い介護を必要とする方の増加が見込まれておりますが、介護保険事業につきましては、公平な要介護認定を行い、適正な保険給付に努めるとともに、第9期介護保険事業計画に基づき、介護予防に重点を置いた施策事業を高齢者福祉施策と一体的に進めて参ります。

介護保険特別会計（介護サービス事業勘定）について申し上げます。

住み慣れた地域で、いつまでも元気で暮らせるように、地域包括支援センターを中心に一人ひとりの状態に即した介護予防ケアプランを作成し、介護予防支援事業に取り組んで参ります。

水道事業会計について申し上げます。

水道事業の持続可能性を確保するためには、経営基盤の強化が不可欠です。

人口減少により収益が減少している中、費用の縮減や老朽化した施設の効率的な集約や更新、体制強化を図るため、茨城県が推進する水道広域化に参画し、効率的な資源配分やコスト削減に取り組んで参ります。

また、昨年度実施した人工衛星とAIを活用した漏水危険箇所の予測等に基づき、効果的な老朽管の更新を行い、漏水や断水の未然防止に努めて参ります。

下水道事業会計について申し上げます。

流域公共下水道事業につきましては、上入野地区農業集落排水と流域関連公共下水道の接続が完了したため、さらに中期的な整備目標として、常北青山、北方高久地区農業集落排水を公共下水道と統合へ向けて業務を進めてまいります。また、磯野地区においては、道路改良事業と連携した下水道整備に取り組んで参ります。

下水道事業の運営につきましては、経営状況を的確に把握し、経営基盤の強化に取り組むとともに、普及率の向上に努め、快適で衛生的な生活環境の実現及び公共用水域の水質保全に努めて参ります。

水道事業及び下水道事業の運営には、住民の皆様との理解と協力が不可欠であることから、両事業とも審議会を立ち上げ、丁寧な合意形成に努めて参ります。

以上、一般会計及び特別会計並びに企業会計の概要について御説明申し上げます。

結びとなりますが、今後とも町民との対話、町民との協働を図りながら、まちの将来像である「人と自然が響きあい ともに輝く住みよいまち」づくりの実現に向け、全力で取り組んで参ります。

議員各位並びに町民の皆様におかれましては、より一層の御支援・御協力をお願い申し上げます。